

## 平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（奈良県）

### － 予想収穫量（主食用）は4万3,800 tの見込み －

#### 1 作付面積

平成30年産水稻の作付面積（子実用）は8,580haで、うち主食用作付見込面積は8,530haが見込まれる。

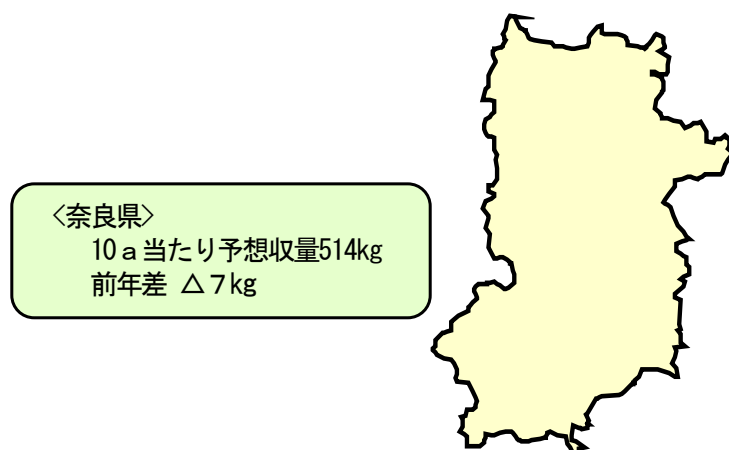
#### 2 作柄概況

- (1) 全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから「平年並み」となった。
- (2) 登熟は、9月の日照時間が秋雨前線の影響等により平年を下回ったものの、気温は平年並みに経過し、10月以降は天候に恵まれていることから「平年並み」が見込まれる。
- (3) これらのことから、10月15日現在の10a当たり予想収量は514kg（前年産に比べ7kg減少）が見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は100となる見込み。
- (4) 被害は、山間部を中心にイノシシによる獣害等の発生がみられる。

#### 3 予想収穫量

以上の結果、予想収穫量（子実用）は4万4,100 t（前年産に比べ800 t減少）が見込まれる。うち、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は4万3,800 tが見込まれる。

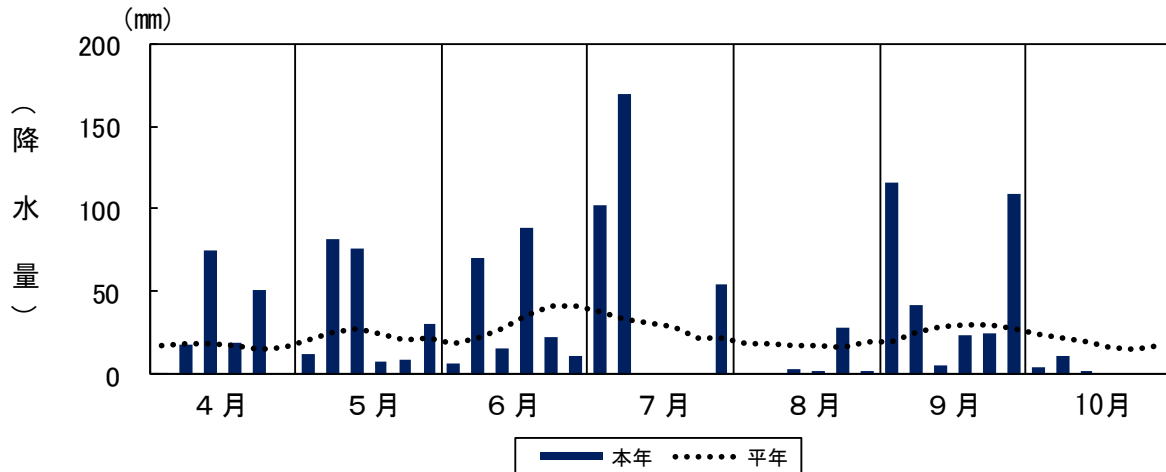
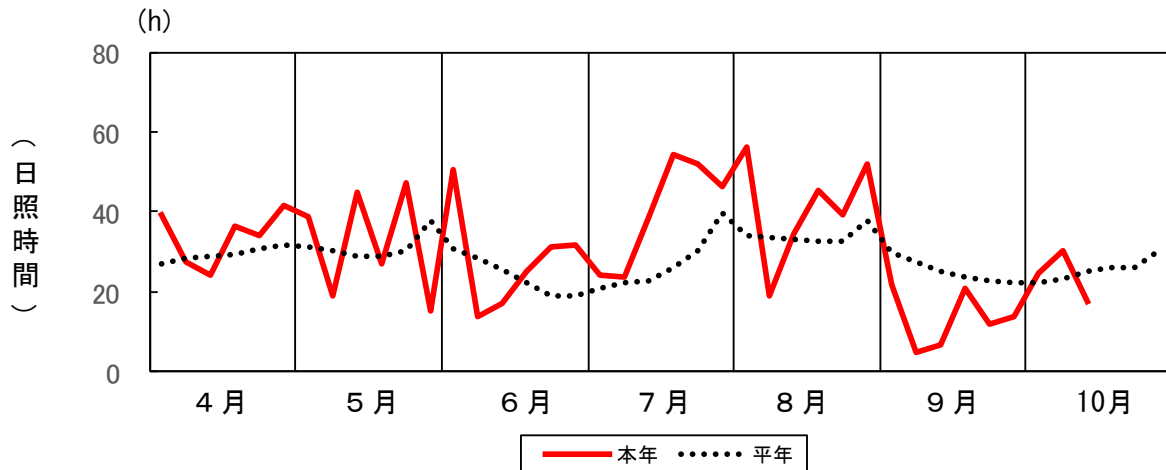
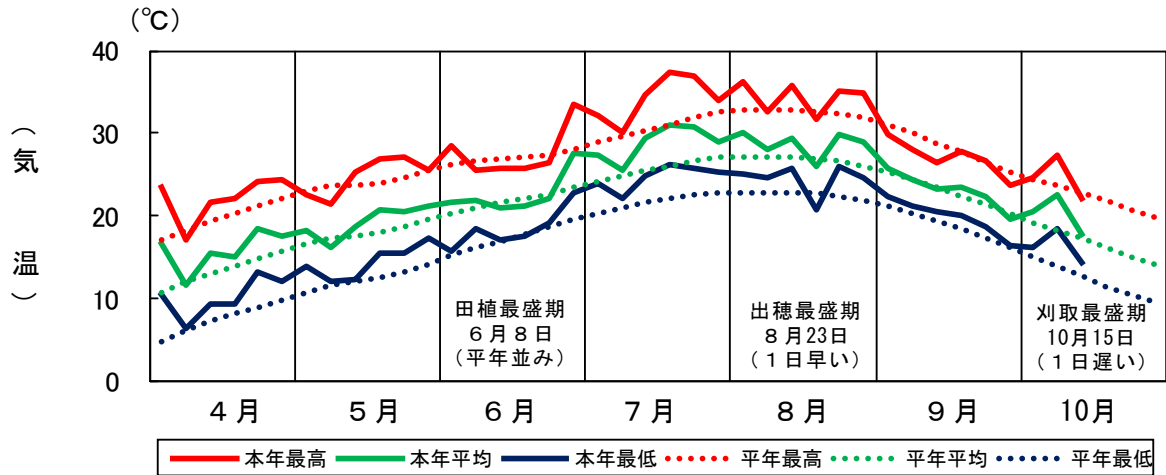
図 奈良県の10a当たり予想収量（10月15日現在）



- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
- この資料は、「平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（近畿）」（平成30年10月31日公表）の補足資料として作成したものである。

【参考】

奈良県（奈良市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注： 田植期、出穂期及び刈取期の最盛期は、県平均の期日である。

なお、（ ）は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 奈良県拠点 統計チーム

電話：(代表) 0742-32-1870 内線438

(直通) 0742-36-2988

FAX： 0742-36-2985